

おもちゃ図書館Q&A

2号

発行者：特定非営利活動法人おもちゃの図書館全国連絡会
〒116-0001 東京都荒川区町屋2-7-5 電話03-6807-8813/FAX03-6807-8863 E-mail:renrakukai@toylib-jpn.org

相談事業ニュースレター おもちゃ図書館Q&A 1号 では『おもちゃについて～おもちゃ図書館で人気のおもちゃ・おもちゃの管理について～』としました、2号ではおもちゃ図書館の研修会、アンケート等でも、ご質問やご意見の多いボランティアの確保について考えてみたいと思います。

今月のテーマ

ボランティアの確保について

ボランティア募集をしても、なかなか見つからない。またイベントをお手伝いしてくれても運営に関わってくれる人がいない、ボランティアが高齢化してきて…この様な声がよく聞かれますよね。おもちゃ図書館に限らずひとつの活動を続ける上でよく直面する問題です。今回おもちゃ図書館でボランティアを募集する時の呼びかけや継続への工夫について考えてみました。

問 どんな方法で、ボランティア募集・呼びかけをしていますか？

WEB

答 ホームページ、ブログ、SNS等にボランティア募集を掲載します。

→大きく広く呼びかける入口として有効です。自分たちでは難しくても地域の他のグループや得意な方へお願いするのも良いかと思えます。

イベント

答 ボランティア養成講座や夏のボランティア体験の受入を行います。フォローアップの為にクリスマス会等のイベントでもう1度声かけをする工夫もしています。

→体験参加をしてもらえるようなワークショップのイベント開催や、講座などで受け入れして体験してもらうのも効果的です。

メディア

答 ラジオ番組中に直接電話をかけておもちゃ図書館のボランティア募集をしたこともあります。また、新聞に掲載してもらえるようなイベントを行っておもちゃ図書館の紹介をしてもらったりしました。

→マスコミにはどンドンメールやおたよりで活動を紹介したり反響をお知らせしたりしておくといつか取り上げてもらえるかもしれません。一度メディアに取り上げられると効果大（継続して取り上げてもらう努力は不可欠）全国誌の地方版に掲載してもらう、行政の機関誌、地域のタウン誌等取材して貰う事も効果的です。

ボランティアセンター

答 ボランティアセンターにボランティア募集の相談にいきます。

→地域のボランティアセンターへ出向いてより積極的に活動しましょう。

口コミ

答 知人や、他の団体へボランティアのお願いを直接しました。

→地域の中での「口コミ」も重要。顔を見ながら参加協力をお願いすることも確実性があると思います。

チラシ

答 おもちゃ図書館の開館場所へポスターを掲示して募集をお知らせしています。

→遊びに来ている方や、地域の方が見てくれるので参加者が子ども連れでボランティアにきてくれるようになることも。

ポイント

ボランティア募集について

誰に、何を伝えたいか明確にする (対象者はだれか?)

☆活動内容をわかりやすく伝える
日程、内容、服装、昼食、交通費
経験者の声、写真等
→参加者の不安を減らす工夫

☆具体的な募集方法を考える
web → 大きく広く
紙、チラシ → 地域
学校、大学 → 学生
etc

おもちゃ図書館Q&A



問 ボランティアを継続してもらう工夫は？

～はじめに～

はじめて参加する人はとても不安な気持ちでくるのでしっかりサポートしましょう！

☆はじめて参加してくれるボランティアには、事前にオリエンテーションを行っています。

(1日の流れ、「おもちゃ図書館とは」の説明等)

☆新しいボランティアが来た時には皆さんに紹介し、終了後に参加者本人の感想も聞くようにしています。



～ボランティア同士のコミュニケーションを大切に～

☆ボランティア同士で話をする時間、振り返りの時間を、子ども達が帰った後や別の日に設けるようにしています。

☆困ったことがある時は小さいことでも相談しやすい雰囲気作りも大切です。

☆感謝の気持ちを言葉に出して伝えます。 ありがとう等

～活動内容の工夫～

☆それぞれのボランティアにあった役割を。

『子どもと遊ぶこと』は意外に難しい場合も。開館の準備、おもちゃの消毒、おもちゃの片づけ、手作りおもちゃ作り、おもちゃの修理、会報、HP作り等、得意な事をお願いすることも必要です。

☆参加しやすい日程の工夫をすることも大切です。

☆楽しかったと充実感を味わってもらえるように心がけてます。

☆その時にそのまま続けて来てもらう事が難しくても何年か後にまたボランティアに来てくれるケースもあります。



おもちゃ図書館のボランティア活動は、年齢、性別、障害の有無に関係なく趣旨に共感してくださる方ならどなたでも参加できる活動です。子どもから学生、子育て中のお母さん、お父さん、高齢者、障害のある方、できるだけ地域の人をまきこんで活動を進めることがおもちゃ図書館の継続につながると思います。

たとえ小さなグループでも組織をつくる意識で、グループ運営の視点をもって情報を共有する、役割分担をする工夫も大切です。

一人ひとり、お互いのことを尊重し、ボランティア同士支え合いながら、楽しい居場所作りを心掛けて活動していきたいですね。



※ 次回は「運営資金」について考えたいと思います。

運営資金について聞いてみたいこと、うちのおもちゃ図書館ではこんな工夫をしています等ありましたら、ぜひご意見をお寄せください。

相談事業担当者より

今年度より相談事業担当となりました。開館してまだ数年のおもちゃ図書館なので運営年数の若い図書館ならではの視点で考えていきたいと思っています。些細なことでも良いので相談・ご意見・ご感想をお寄せ下さい。紙面を通して全国のおもちゃ図書館と繋がっていただけると良いですね。 (山本)

相談事業担当(青塚、岸、松原、山本)